

宇津木台 森遊会 実施報告

「第6回定例活動」

No.2019-06

実施日	2019年9月22(日) 10:00~12:30	天候: 晴れ	記録: 金森
場所	宇津木台緑地 (八王子市久保山町2-1)		
参加者	参加者: 5名 (男性3、女性2) 井手、野原、川田、田原、錦織 インストラクター: 金森		

実施内容

活動9年目の第六回目。すっかり秋の乾いた空気となり、作業し易くなった。緑地の入口では、枝豆の形をしたアスナロの実がお出迎え、キノコの群生が次々と見つかる。毒のあるテングタケは要注意。

3年前に整備を完了したテニスコートの裏の斜面は人が入れないほどひこばえや草が生えている。今回は、将来大きくしたい低木を残して全て刈る。作業効率の良い大鎌を新たに人数分用意した。

大鎌の選び方や使い方を説明した後、横一列になり、上から下へ刈ってゆく。慣れるまで多少時間がかかったが、終わり頃には上達した。およそ1時間半で斜面の上半分が終了、次回は下半分を行う。

テニスボールの投棄が多い、フェンスを高くするか、定期的な清掃など対策が必要ではなかろうか。今回の大鎌は約2千円/本であったが支障なく使用できた。本来、1万円/本以上するものであるが、丁寧に扱えば長持ちすると思われる。次回は、昼食に秋の焼き物を堪能する予定。



あすなろの実がお出迎え



キノコの季節



群生している



テングタケは毒キノコ



3年経って人が入れる状況ではなく 除伐を決意



低木を残しながら草を刈る



あっという間に綺麗に



タヌキのため糞を発見



今回から採用した大鎌



古いゴミと最近のテニスボール



見晴らしが良くなってきた



上段の斜面はほぼ完了



公園らしくなった



お疲れさまでした



備品置き場は異常なし

連絡事項 ・怪我、ヒヤリハットなし。 ・ボランティア袋小1個を指定の場所に置く。